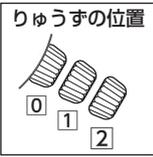
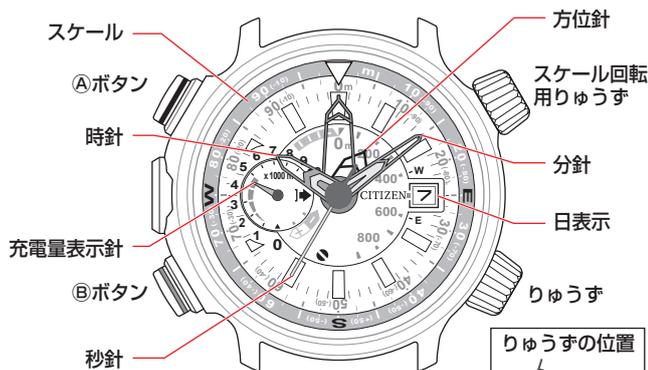


J280 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  J280 取扱説明書
- 項目内の  動画を見る をクリックすると、動画での操作解説がご覧いただけます。

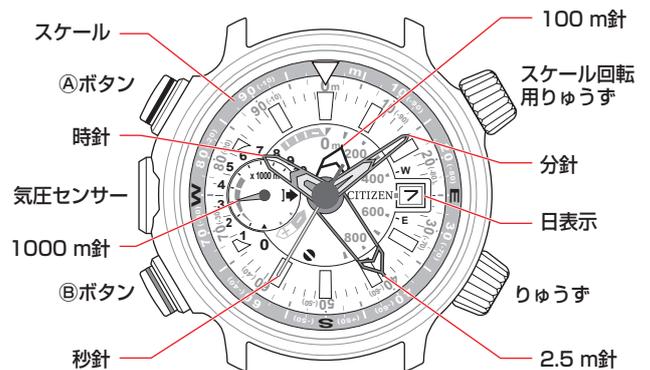
各部の名称

通常時 / 方位測定時



- モデルによってデザインは異なります。また、モデルによっては、スケールとスケール回転用りゅうずが付いていない場合があります。
- ねじロックりゅうずの解除は、りゅうずが飛び出すまで左に回してください。

高度測定時



- 操作後は、ねじロックりゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締めてください。
- スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) も併せてご覧ください。

• この時計の高度測定 / 方位測定機能をお使いのときは、取扱説明書をよくお読みの上、安全な使用に十分ご配慮ください。

充電量を確認する

- 高度の測定中や補正中は、充電量は表示されません。

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	約 340日～ 280日	約 280日～ 180日	約 180日～ 4日	約 4日以下
表示の意味	安心して使える		そろそろなくなる	ほとんどない
	すぐに充電してください。			

- 充電量レベルが「0」のときは、測定機能は使用できません。ただし、時刻は表示されます。また、測定機能を頻繁に使用すると、持続時間は短くなります。

時刻を合わせる

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を②にする
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
 - 午前 / 午後の違いに注意して合わせます。
 - 午後 10 時を超えると、日表示が 1 日進み始めます。りゅうずを反時計回りに回しても、日表示は戻りません。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして、終了する

日表示を合わせる

- 時計が午後 10 時～午前 0 時を示しているときは、日表示合わせをさけてください。日表示が正しく切り替わらなくなる場合があります。
- この時計は、3 月、5 月、7 月、10 月、12 月の各 1 日には、日表示の修正が必要です。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを時計回りに回して、日表示を合わせる
3. りゅうずの位置を②にして、終了する

高度をはかる

※ 動画を見る

- ・測定の前に充電量レベルが「2」以上であるかどうか確認してください。
- ・測定を始めると、最初の5分間は連続して高度測定が行われます。5分経過すると、その後は3分間隔で最大12時間測定を続けます。

1. ⓐボタンを押す

- 高度が表示されます。
- ・高度表示中にⓐボタンを押すと、100 m 針が一時的に方位を示します。ⓐボタンを押すと高度表示に戻ります。

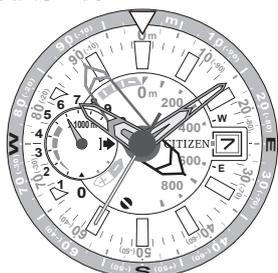
2. 測定終了後、ⓑボタンを押して、終了する

高度表示の読みかた

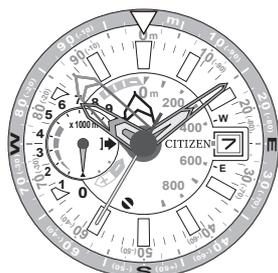
高度は、1000 m 針、100 m 針、2.5 m 針の3つの針で表示され、それらを合計して読み取ります。
測定可能範囲：-300 m ~ 10000 m

針	表示範囲	単位
1000 m 針	1000 m ~ 10000 m	1000 m
	・1000 m 未満では、「0」を指します。	
100 m 針	-300 m ~ 900 m	100 m
	・0 m ~ 100 m では、「0」を指します。 ・-100 m ~ 0 m では、「-」を指します。	
2.5 m 針	-97.5 m ~ 97.5 m	2.5 m
	・-97.5 m ~ 0 m では、() 内の数値を読みます。 ・6000 m 以上では、5.0 m 単位になります。	

高度表示の例



測定高度：6790.0 m



測定高度：-12.5 m

測定高度が表示できないときは

1000 m 針が「➡」(3時位置)を指して停止します。

方位をはかる

※ 動画を見る

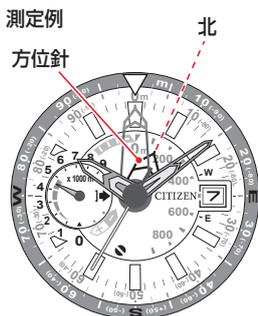
- ・測定の前に充電量レベルが「2」以上であるかどうか確認してください。

1. 時計の文字板を水平に保ち、ⓐボタンを押す

- 方位測定が開始され、方位針が北を指します。
- ・針の動きが止まるまでお待ちください。

2. 測定終了後、ⓐボタンを押して、終了する

- ・ボタンを押さなくても、30秒間経過すると方位表示は終了します。



高度表示を補正する

※ 動画を見る

地図や標識などから実際の高度がわかるときに、時計の測定高度を補正することができます。

- ・補正は、現在の測定高度を基準に、±1000 m の範囲で行うことができます。

1. ⓑボタンを押す

- 測定高度が表示されます。
- ・針の動きが止まるまでお待ちください。

2. ⓑボタンを3秒間以上押す

- 1000 m 針が「+」を指し、高度表示の補正ができるようになります。

3. ⓑボタンを押して、+/- を設定する

	実際の高度が、測定高度より大きいときに選びます。
	実際の高度が、測定高度より小さいときに選びます。

- ・ボタンを押すごとに、「+」と「-」が切り替わります。
- ・手順3と4をくり返し、高度の補正値を増減させることができます。

4. ⓐボタンを押して、実際の高度に補正する

- 100 m 針と2.5 m 針で、近似の高度を表示させます。
- ・ボタンを押し続ける間、連続して表示が変化します。
- ・ⓐボタンとⓑボタンを同時に押すと、補正値が初期化されます。

5. ⓑボタンを3秒間以上押す

- 修正した高度が現在の高度とされて、測定高度の表示に戻ります。
- ・1分間以上何も操作しないでいても、修正した高度が現在の高度とされて、測定高度の表示に戻ります。

6. ⓑボタンを押して、終了する

方位表示を補正する

2点補正と偏角補正の2種の補正を行うことができます。

2点補正を行う

※ 動画を見る

- ・2点補正では、水平を保ちながら、時計を正確に180°回転させる必要があります。補正を開始する前に、周辺の状況にも十分配慮ください。
- ・補正を行う前に、周辺に強い磁気を伴うもの(電化製品、磁石)がないことを確認してください。

1. ⓐボタンを押す

- 方位測定が開始されます。
- ・針の動きが止まるまでお待ちください。

2. ⓐボタンを3秒間以上押す

- 方位針が3時位置を指します。

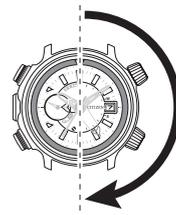
3. ⓑボタンを押す

- 1回目の周辺環境データが記憶され、方位針が180°回転し、9時位置を指します。

4. 時計を180°回転させる

5. ⓑボタンを押す

- 2回目の周辺環境データが記憶され、方位針が180°回転し、9時位置を指します。
- ・方位針が3時位置に戻ったときは、手順3からやり直します。
- ・途中でやめるときは、ⓐボタンを3秒以上押し続けます。この場合、補正は行われず、前回の補正結果が有効になります。
- ・手順5を完了する前に、ⓐボタンとⓑボタンを同時に押すと、2点補正と偏角補正の値が初期化され、方位測定に戻ります。



6. ⓐボタンを押して、終了する

偏角補正を行う

動画をみる

・この時計では、東西 0°～59°までの偏角を 1°単位で設定することができます。

1. ①ボタンを押す

- 方位測定が開始されます。
- 針の動きが止まるまでお待ちください。

2. ①ボタンを 3 秒間以上押す

方位針が 3 時位置を指します。

3. ②ボタンを 3 秒間以上押す

方位針が東西の設定を指し、2.5 m 針が設定した偏角の大きさを秒針の目盛りで示します。

4. ②ボタンを押して、東西を設定する

	偏角が西側 (W) の場合に選びます。
	偏角が東側 (E) の場合に選びます。

・ボタンを押すごとに、「E」と「W」が切り替わります。

5. ①ボタンを押して、偏角の大きさを設定する

- 例えば、東京での偏角の大きさは、「西 7°」なので、右のように設定します。
- ボタンを押し続ける間、連続して表示が変化します。
- 手順 5 を完了する前に、①ボタンと②ボタンを同時に押すと、2 点補正と偏角補正の値が初期化され、方位測定に戻ります。



6. ②ボタンを 3 秒間以上押す

- 偏角の補正が終了し、方位測定が開始されま
- す。
- 針の動きが止まるまでお待ちください。

7. ①ボタンを押して、終了する

基準位置を確認する

1. 測定をやめ、充電量表示を確認する

・充電量レベルが「2」未満のときは、充電してください。

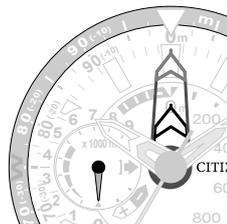
2. りゅうずの位置を②にする

時計がとまり、各針が現在の基準位置に移動します。

3. 基準位置を確認する

1000 m 針：0 m (6 時位置)
100 m 針：0 m (12 時位置)
2.5 m 針：0 m (12 時位置)

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



4. りゅうずの位置を①にして、終了する

基準位置を修正する

動画をみる

1. 測定をやめ、充電量表示を確認する

・充電量レベルが「2」未満のときは、充電してください。

2. りゅうずの位置を②にする

時計がとまり、各針が現在の基準位置に移動します。

3. ③ボタンを 2 秒間以上押す

100 m 針 (方位針) の基準位置の修正ができるようになります。
・100 m 針 (方位針) と 2.5 m 針は、他の針の修正の際に、左側にずれます。

4. ①ボタンを押す

・ボタンを押すごとに、針が 1 ステップ動きます。押し続けると、連続して動きます。

5. ③ボタンを押して、針を切り替える

・③ボタンを押すごとに、修正対象の針が動き、修正対象をお知らせします。
100 m 針 (方位針) → 2.5 m 針 → 1000 m 針 → (はじめに戻る)

6. 手順 4 と 5 をくり返し、すべての針の基準位置を修正する

7. りゅうずの位置を①にして、終了する

オールリセットを行う

・高度測定 of 補正、2 点補正、偏角補正 of 各補正值は初期化されます。

1. 測定をやめ、充電量表示を確認する

・充電量レベルが「2」未満のときは、充電してください。

2. りゅうずの位置を②にする

時計が止まり、1000 m 針、100 m 針 (方位針)、2.5 m 針が現在の基準位置に移動します。

3. すべての針が止まったら、①ボタンと③ボタンを同時に 4 秒間以上押す

ボタンから手を離すと、各針が動き、リセットが行われたことをお知らせします。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置、時刻、日表示を合わせ直してください。